

# アナウンサーこぼれ話

～定年を迎える今思うこと～

やまだ たかこ

**山田 隆子**

## ●プロフィール

四国放送株式会社

ラジオ局アナウンス部 主管

徳島県鳴門市撫養町生まれ。

地元鳴門市の小・中学校、城東高校を経て、  
津田塾大学英文学科を卒業。

昭和 53 年に四国放送株式会社に入社し、  
アナウンス部に配属。平成 14 年に、テレビ  
制作部にディレクターとして配属され、全国  
放送のドキュメンタリー番組を手がける。

平成 20 年からは制作部主管となり

「おはよう とくしま」などを担当し、平成 25 年からアナウンス部主管として活躍し、現在に至る。

毎週水曜日の **とがりラジオ** にも、出演中。



- 内 容 管理職になってどのような変化がおきたか、仕事に対する苦労ややりがい、働く女性・男性への応援メッセージなどご自身の体験をもとにお話いただきます。

## 事業所セミナー



- と き 平成 28 年 1 月 21 日 (木)  
午後 6 時 30 分から 8 時 30 分まで
- ところ 鳴門市消防本部 3 階 会議室
- 問合せ 鳴門市健康福祉部人権推進課 ☎ (088) 684-1148

事前申込不要。  
どなたでもご参加  
いただけます。



主催： 鳴門市

元気な鳴門の女性の魅力発信推進事業  
事業所向け女性活躍推進セミナー（第3回）

平成28年1月21日（木）鳴門市消防本部3階会議室にて、四国放送株式会社 山田隆子氏を講師に迎え、「アナウンサーこぼれ話 ～定年を迎える今思うこと～」と題し行われ、セミナー講演には55名の参加があった。

山田講師の就職当時、男性は重要な仕事、女性はお茶くみが仕事の風潮であった時代。そんな中、男性社会であったテレビ放送業界に足を踏み入れたが、女性が認められない・認められにくいなか、自身の就職・結婚・子育て、さらには仕事を続けるか・離婚を選択する等の経験をお話いただいた。

さらに、ご本人の経験をもとに、男性社会の中での生き抜いてきた持論として、男性上司等から「仕事ができるのか」に対して、出来る・出来ないは別として、まずは「出来る」と言い切ることで、私は仕事をするということ伝えることで、相手側も変わっていく。

時代は違うが、男性が女性を軽視していたと思うとともに、男性と同様に「任される」ために必死で努力し、仕事に打ち込み、やっと一人前に認められ、女性でも仕事ができるという会社になった。

そして、「任された」責任あるドキュメンタリー番組の制作時の苦労話や制作に携わったことから見いだした生き方などについてもお話いただいた。

それらの仕事において、男性と違う女性目線での取り組みかたが、社会に認められた時、初めて素直に喜べたことが女性として充実感（やりがい）を得たとのこと。

最後に、女性の一番のハードルは「結婚して、子育て、家事」であり、これをいかにして男女が共同できるかはお互いの理解と、自身が信念を持つこと・貫くことであるとまとめたセミナーであり、発声の実技方法なども交え、参加者から拍手喝采で終了した。

<会場の様子>



<講師紹介>



<山田隆子氏の講演>



<講演の様子>



<講演の様子>



<苦労話と経験談を話す講師>



<発声の実技を体験する参加者>



<講演終了>

